

平成27年度
事業報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

公益社団法人 全日本銃剣道連盟

I. 基本方針及び重視事項

1. 基本方針

公益社団法人全日本銃剣道連盟（以下全銃剣連という）は、「スポーツ基本法、武道憲章及び銃剣道修行の指標に則り、銃剣道・短剣道の普及振興を図る事業を行い、国民の体力向上と健全な人間形成に寄与する。」を基本方針として、平成 27 年度の事業を遂行した。

2. 重視事項

(1) 会員数の増大

▽別紙第 1～3

新規加入者獲得、会員メリットの提供、会員の掘り起こしの 3 本柱を重視した。平成 27 年度末における普通会員数は 24,734 名であり減少は継続している。しかしながら、新規会員数の増加など県連盟における会員数増大努力は成果を表しつつある。

(2) 銃・短剣道に関する指導者及び審判の育成

▽別紙第 4～8

研修会参加推奨、高段位・称号受審の奨励等を重視した。研修会参加者数は、青少年指導者講習会增加（60 名、前年度 48 名）したものの、ブロック研修会は約 30%減少した。また高段位及び称号取得者数は増加し、A級審判員合格者数は前年度並みであった。

(3) 青少年の育成強化、特に国体銃剣道競技少年種別への全県参加

▽別紙第 9, 10

国体銃剣道競技少年種別への全県参加、育成拠点維持増加、競技会参加を重視した。少年会員数は減少したが、少年少女錬成大会参加者数は微増、高校生大会参加数は微減であった。国体少年種別不参加は依然 8 県（前年度 9 県）であり、更なる努力が必要である。

(4) 中学校武道必修化への銃剣道参入施策の推進

28 年 1 月から神奈川県平塚市の中学校において銃剣道授業が開始された。悲願達成である。他県連盟においても努力されたが、それぞれの事情により実現には至っていない。成功の教訓と失敗の教訓を生かし、授業の継続・改善と、実現校の拡大を図る努力が必要である。

(5) 全国都道府県対抗銃剣道大会の具体的準備の推進

大会の開催地について関係団体・県連盟等と調整し、平成 28 年度大会は、9 月 24 日（土）日本武道館において開催が決定した。また、大会実施要項を策定して具体的準備を推進した。

(6) 全銃剣連創立 60 周年（平成 28 年）記念事業の準備

27 年 6 月末に寄付事業を開始、年度末までに見積を上回る額が寄せられた。個々の事業については、実施要項を作成し、理事会の了承を受けつつ準備を推進した。

II. 事業内容 〈 〉 内は 26 年度実績

1. 全日本銃剣道選手権大会及びその他の競技大会の開催

(1) 高松宮記念杯争奪第 23 回全日本銃剣道選手権大会

- 開催期日・場所：平成 27 年 8 月 7 日（金）・日本武道館
- 参加数：選手 64 名〈64 名〉

(2) 第 59 回全日本銃剣道優勝大会

- 開催期日・場所：平成 27 年 4 月 19 日（日）・日本武道館
- 参加数：226 チーム〈222 チーム〉、選手監督 1,271 名〈1,228 名〉

(3) 第 46 回全日本青年銃剣道大会

- 開催期日・場所：平成 27 年 8 月 6 日（木）・日本武道館
- 参加数：選手・監督 1,478 名〈1,417 名〉

(4) 第 27 回全国高校生銃剣道大会

- 開催期日・場所：平成 27 年 7 月 25 日（土）・宮城県岩沼市総合体育館
- 参加数：58 チーム〈58 チーム〉、監督選手 216 名〈234 名〉
うち中学 3 年生参加 5 名〈6 名〉

※不参加県 19 〈17〉：山形, 群馬, 埼玉, 東京, 富山, 長野, 岐阜, 静岡, 愛知, 奈良, 鳥取, 島根, 徳島, 高知, 佐賀, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄

(5) 第 15 回全日本短剣道大会

- 開催期日・場所：平成 28 年 2 月 14 日（日）・日本武道館
- 参加数：選手・監督：378 名〈461 名〉

(6) 平成 27 年度全日本少年少女武道（銃剣道）錬成大会

- 開催期日・場所：平成 27 年 8 月 5 日（水）・日本武道館
- 参加数：25 県〈27 県〉、38 チーム〈37 チーム〉、選手 227 名〈226 名〉
- ※不参加県 22 〈20〉：青森, 山形, 群馬, 埼玉, 富山, 石川, 長野, 愛知, 三重, 京都, 奈良, 和歌山, 島根, 徳島, 愛媛, 高知, 福岡, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄
- ※監督の道場内入場制限、父兄の応援のあり方について今後指導徹底が必要

(7) 第 70 回国民体育大会銃剣道競技会

- 開催期間・場所：平成 27 年 10 月 3 日（土）～5 日（月）・和歌山県海南市総合体育館
- 参加数：選手・監督 193 名、役員 80 名
- ※少年男子ブロック予選会不参加県 8 〈9〉：山形, 長野, 静岡, 岐阜, 奈良, 徳島, 高知, 沖縄

2. 銃剣道及び短剣道に関する調査、研究及び教則の制定と競技規則・審判規則の統一。
講習会・研修会の開催と指導員・審査員の派遣

(1) 銃剣道・短剣道青少年指導者講習会

○開催期間・場所：平成27年5月22日（金）～24日（日）・日本武道館研修センター

○参加数：60名〈48名〉

※参加者数は増加しているが、高段研修会との統合であり、更なる増加が必要

(2) A級審判員研修会

○開催時期・場所：平成28年1月29日（金）～30日（土）・日本武道館研修センター

○参加数：83名〈93名〉

(3) ブロック研修会

地区	開催期間	開催場所	参加者数		
			銃剣道	短剣道	審判
北海道	27年6月20日(土)～23日(火)	帯広駐屯地体育館	95 〈161〉	25 〈84〉	39 〈67〉
東北	27年6月18日(木)～21日(日)	岩手駐屯地体育館	88 〈116〉	74 〈123〉	72 〈85〉
関東	27年10月16日(金)～18日(日)	山梨県富士北麓公園体育館	50 〈81〉	45 〈72〉	38 〈76〉
北信越	27年6月26日(金)～28日(日)	富山駐屯地体育館	19 〈36〉	22 〈36〉	15 〈33〉
東海	27年12月4日(金)～6日(日)	愛知県春日井駐屯地体育館	60 〈85〉	37 〈83〉	56 〈78〉
近畿	27年7月10日(金)～12日(日)	兵庫県千僧駐屯地体育館	54 〈63〉	32 〈52〉	43 〈59〉
中四国	27年6月20日(土)～23日(火)	徳島駐屯地体育館	87 〈101〉	66 〈93〉	55 〈57〉
九州	27年11月20日(金)～23日(月)	福岡県筑紫野市農業者トレーニングセンター	104 〈95〉	79 〈81〉	106 〈98〉
計(のべ1,361 〈1,915〉)			557 〈738〉	380 〈624〉	424 〈553〉

(4) 第2回銃剣道指導者研修会

○開催時期・場所：平成27年11月13日（金）～15日（日）・日本武道館研修センター

○参加数63名〈57名〉：ブロック指導員51名〈40名〉、学校教員5名〈10名〉、
女子指導者7名〈7名〉

※学校教員参加数増加のため、開催時期及び募集方法についての改善が必要

(5) 国内強化合宿

地区	開催期間	担当	参加者数
北海道	27年8月29日(土)～30日(日)	北海道	21 〈20〉
東北	27年9月12日(土)～13日(日)	宮城県	33 〈31〉
関東	27年6月27日(土)～28日(日)	千葉県	66 〈71〉
北信越	27年9月22日(火)～23日(水)	新潟県	39 〈21〉
東海	27年6月20日(土)～21日(日)	静岡県	15 〈11〉
近畿	27年7月19日(日)～20日(月)	京都府	24 〈28〉
中国	27年4月25日(土)～27日(月)	鳥取県	17 〈20〉
四国	27年5月30日(土)～31日(日)	香川県	27 〈25〉
九州	27年5月4日(月)～5日(火)	熊本県	25 〈42〉
計			267 〈269〉

(6) (公財) 日本体育協会公認銃剣道指導者養成講習会

○公認スポーツ指導員銃剣道専門科目講習会

開催期日	場所	参加数
27年8月28日(金)～31日(火)	鳥取県米子市 鳥取県立武道館	29
27年10月31日(土)～11月3日(火)	北海道千歳市 東千歳駐屯地体育館	28
計		57 (155)

(7) 指導員派遣事業

○日本武道館及び全国都道府県立武道協議会加盟武道館と共催で行う地方青少年武道（銃剣道）錬成大会に対して、全銃剣連が指定したブロック指導員2名を派遣

地区	開催期間	担当	開催場所	参加数
北海道	27年10月10日(土)～11日(日)	北海道	美瑛町大雪青少年交流の家	63 (42)
東北	27年6月27日(土)～28日(日)	秋田県	にかほ市金浦体育センター	63 (43)
関東	27年6月30日(土)～31日(日)	神奈川県	神奈川県立武道館	44 (62)
北信越	27年7月18日(土)～20日(月)	石川県	白山市松任運動公園体育館啓武館	44 (50)
東海	27年7月18日(土)～19日(日)	岐阜県	岐阜メモリアルセンター	30 (26)
近畿	27年10月17日(土)～18日(日)	兵庫県	兵庫県立武道館	45 (39)
中国	27年7月18日(土)～20日(月)	鳥取県	鳥取県立武道館	28 (37)
四国	27年7月18日(土)～20日(月)	愛媛県	愛媛県立武道館	29 (35)
九州	未実施			0 (17)
計				346 (357)

(8) 国際交流事業

○平成27年11月9日(月)～16日(月)、サウジアラビア王国派遣日本武道代表団に6名を派遣

(9) 銃剣道・短剣道に関する調査、研究

- 競技力向上委員会により短剣道教則改正に関する調査・研究、全日本銃剣道優勝大会・全日本青年銃剣道大会の試合区分の検討
- 中学校武道必修化に対応した指導の手引きの作成作業の継続実施
- ドーピング防止委員会、医学・安全委員会により資料収集を行い、連盟アンチ・ドーピング規程の策定、スポーツドクター・デンティストとの連携、安全ガイドライン(試案)策定、並びに啓発教育等に関する調査研究を実施

3. 銃剣道及び短剣道の技倆に関する資格認定及び称号段位の付与

(1) 段位審査会

ア. 8段審査会

- 平成27年11月23日(月)、福岡県筑紫野市農業トレーニングセンター
合格者数：銃剣道4名、短剣道5名
- 平成28年1月31日(日)、日本武道館研修センター
合格者数：銃剣道7名、短剣道7名
- ◎全合格者数：銃剣道11名(4名)、短剣道12名(3名)

イ. 6段7段審査会

- 合格者数：銃剣道7段 43名〈42名〉・6段 126名〈84名〉
短剣道7段 36名〈33名〉・6段 33名〈48名〉

ウ. 5段以下審査会

- 合格者数

	5段	4段	3段	2段	初段
銃剣道	372〈278〉	134〈125〉	647〈400〉	877〈860〉	4,305〈3,968〉
短剣道	116〈136〉	15〈14〉	72〈85〉	77〈88〉	196〈224〉

(2) 称号審査会

ア. 範士称号審査会

- 開催期日・場所：平成27年12月12日（土）・パールホテル両国
- 合格者数：銃剣道範士 7名〈7名〉、短剣道範士 4名〈4名〉

イ. 教士・錬士称号審査会

- 合格者数
銃剣道：教士 65名〈18名〉、錬士 135名〈104名〉
短剣道：教士 37名〈28名〉、錬士 63名〈32名〉

(3) 指定審判員審査会

ア. A級審判員審査会

- 開催時期・場所：平成28年1月31日（日）・日本武道館研修センター
- 合格者数 63名〈66名〉：新規 2名〈2名〉、再審 61名〈64名〉

イ. B級審判員審査会

- 全銃剣連が主催し、各ブロックにて開催
- 合格者数：新規 41名〈33名〉、再審 22名〈10名〉

ウ. C級審判員審査会

- 都道府県連盟に委託
- 合格者数：新規 91名〈113名〉、再審 29名〈26名〉

エ. 名誉審判員認定審査

- 認定者数 27名〈26名〉：新規 7名〈3名〉、再認定 20名〈23名〉

(4) 段位特別審議会

- 開催時期：平成28年3月
- 銃剣道9段位授与者 2名：野稻 正（千葉県）、上村 正（福岡県）

4. 機関誌の発行・銃剣道等に関する図書の出版

(1) 機関誌「剣の心」第62号の発行

- 発行時期：平成28年3月
- 発行部数：2,500部

(2) 銃・短剣剣道に関する図書の出版

- 銃剣道教則の販売
- 銃剣道試合・審判規則及び細則の販売
- 短剣道教則の販売
- 短剣道試合・審判規則及び教則の販売
- ジュニア指導者の手引きの販売
- 銃剣道DVDの販売

5. 功労者の表彰

(1) 全銃剣連の行う表彰

- 優良都道府県連盟表彰 1県：北海道銃剣道連盟
- 特別功労章 3名：住田隆良（北海道）、清友真治（鳥取県）、佐藤安一（宮崎県）
- 功労章 58名
- 優良団体表彰 2団体：今津銃剣道スポーツ少年団（滋賀県）
愛媛県立東温高等学校銃剣道部（愛媛県）

(2) 全銃剣連以外の団体等が行う表彰への推薦

- 武道功労者推薦：範士9段 石川貴史（京都府）
- 少年少女武道優良団体：瑞穂総合クラブ（岐阜県）
- 武道優良団体表彰：陸上自衛隊高等工科学校（神奈川県）
- 読売新聞社日本スポーツ賞：国体長崎県成年チーム（長崎県）

III. その他

1. 会議等

会議等名	開催時期	場所
第1回通常理事会	27年5月13日（水）	パールホテル茅場町
定時社員総会	27年5月29日（金）	ベルサール九段
第2回通常理事会	27年12月12日（土）	パールホテル両国
都道府県連盟事務局長会同	28年1月16日（土）	パールホテル茅場町
第3回通常理事会	28年3月18日（金）	パールホテル両国

2. 委員会

(1) 競技力向上委員会

- 開催期日・場所：平成 28 年 1 月 31 日（日）・日本武道館研修センター
- 参加数：9 名
- 主要議案：青年銃剣道大会の出場選手資格

(2) ドーピング防止委員会

- 開催期日・場所：平成 27 年 11 月 8 日（日）・全日本銃剣道連盟事務局
- 参加数：5 名
- 主要議案：平成 28 年度活動計画、アンチ・ドーピング規程改正等

(3) 医学・安全管理委員会

- 開催期日・場所：平成 27 年 11 月 8 日（日）・全日本銃剣道連盟事務局
- 参加数：6 名
- 主要議案：平成 28 年度活動計画、安全ガイドライン